## 様式(文部科学省ガイドライン準拠版)

# 令和6年度

# 自己評価報告書

令和7年3月1日

道灌山学園保育福祉専門学校

# 目 次

本書の使い方	基準 4	学修成果	2 4
	4-13	就職率	
1 学校の理念、教育目標	4-14	資格・免許の取得率	2 6
	4-15	卒業生の社会的評価	2 7
2 本年度の重点目標と達成計画2	基準 5	学生支援	2 8
3 評価項目別取組状況	5-16	就職等進路	
3 計画項目別収租认次	5-17	中途退学への対応	3 0
	5-18	学生相談	
基準 1 教育理念・目的・育成人材像4	5-19	学生生活	
1-1 理念・目的・育成人材像 5	5-20	保護者との連携	
11 经心口的 有灰八仞像	5-21	卒業生・社会人	3 6
基準 2 学校運営7	基準 6	教育環境	38
2-2 運営方針 8	6-22	施設・設備等	3.9
2-3 事業計画	6-23	学外実習、インターンシップ等	
2-4 運営組織1 0	6-24		
2-5 人事・給与制度12	021		1 0
2-6 意思決定システム13	基準7	学生の募集と受入れ	4.5
2-7 情報システム1 4			
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	7-25	学生募集活動	
基準3 教育活動 15		入学選考	
3-8 目標の設定1 6	7-27	学納金	5 0
3-9 教育方法・評価等1 7			
3-10 成績評価・単位認定等2 0			
3-11 資格・免許の取得の指導体制2 1			
3-12 教員・教員組織2 2			

基準 8	財 務	5	1
8-28	財務基盤	5	2
8-29	予算・収支計画	5	4
8-30	監查	5	5
8-31	財務情報の公開	5	6
基準 9	法令等の遵守	5 ·	7
9-32	関係法令、設置基準等の遵	守5	8
9-33	個人情報保護	5	9
9-34	学校評価	6	0
9-35	教育情報の公開	6	2
基準 1	O 社会貢献・地域貢献	6	3
10-36	3 社会貢献・地域貢献	6	4
10-37	' ボランティア活動	6	6
4 令和	16年度重点目標達成につ	ついての自己評価6	7

#### 1 学校の理念、教育目標

#### 教 育 理 念

道灌山学園は、昭和27年道灌山幼稚園から始まった。幼稚園教育の教育を推進している中で、教員の養成が重要であることがわかり、昭和45年道灌山学園教員養成所として幼稚園の教員養成が開始された。平成11年介護福祉士の資格が取得できる専攻科が増設され、道灌山学園保育福祉専門学校と校名が変更された。

幼児教育は、人間性の基礎を培う上で、極めて大切であり、教育によって 豊かな、個性を伸ばし、創造性とたくましく生きる力を養成することが重要 で、それには、心豊かで誠意と愛情を持った保育者の養成が重要と考え、理 念、目的に掲げて教育実践に取り組んできた。

本校の卒業生が現場での評価が上がると共に、社会からの期待に応え、良い相乗効果で、就職等の実績では、目覚ましい成果が見られる。

学生指導の充実、授業のカリキュラムの充実に向けて、教職員が教育に取り組む事で一層の成果の期待される学校にしたい。

#### 教 育 目 標

教育基本法及び学校教育法、児童福祉法、社会福祉士及び介護福祉士法に則し、学校教育を行うことを目的とする。

「心育学」を目標に、「優しさ、親切、思いやり」の情操と「やる気、根気、 我慢」の意欲を大切にしており、中でも「思いやりと、やる気」を人間性と し心を育てる教育を心育学と名付けた。幼稚園教員、保育士、介護福祉士に とって欠かすことの出来ないこの人間性に資質、能力、を加えた保育者、介 護者の育成を行う。

## 2 本年度の重点目標と達成計画

#### 平成4年度重点目標

本校では、学校運営を円滑に行うために、教職員が教育の理念を十分理解し、一体となり教育を推進している。学生の資質の向上、やる気のある学び、学習に意欲的に取り組む、自主性のある学生が育つように適正な指導を心掛けている。

- (1) 学生の資質の向上と、実力を付けた教員・介護福祉士の育成
  - ・保育者としての自覚を持った使命感の有る人材を育て、保育に対する技能や知識を養成する。
  - ・幼児の発達段階や、課題を理解し、その対応の指導できる知識を身につける。近年特別な配慮が必要な「気になる子ども」が多いと聞くので対応能力の育成
  - ・高齢者のこころとからだのしくみを理解して実際の介護に役立てる。
  - ・卒業して直ぐに出てくる課題として、保護者への対応の仕方が大切で、良き社会人としての倫理観を持った人を養成する。
- (2) 意欲の有る、人間性豊かな、保育士、幼稚園教員、介護福祉士の 育成
  - ・意欲的で気づいて行動を出来る人材が求められている。在学中より課題の提出・勉学を通じて意味を意識付けしたい。
  - ・仲間と共に学び合う中で、コニュニケーション能力を高め、協力できる人間関係を築く。
  - ・人間愛の元に一人ひとりを認め合い、感性を育てる事に努力する。

#### 達成計画 · 取組方法

本校では、学校運営を円滑に行うために、教職員が教育の理念を十分理 保育過程・介護過程では、人間性の育成という、高度な精神活動に従事し関係し、一体となり教育を推進している。学生の資質の向上、やる気のある わる専門職であるので、次の点に重点をおいて取り組む。

- 1,授業に対する真摯な態度を評価する。
- 2, 出欠席を授業前に確認し、勉学の態度を認める。
- 3,保育研究発表会、保育技術発表会、介護体験実習報告会等、の学校にお ける行事に意欲的に取り組む。
- 4. 授業・実習での報告・連絡・相談の重要性を実体験で学ぶ。

3 評価項目別取組状況

# 基準1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
心を育てる「心育学」の理念より、保育士、幼稚園教員、介護福祉士の養成を目指し、社会にも認められ、期待が寄せられている。保育に関する社会のニーズも高く期待が寄せられているが、学生の資質や価値観に変化が見られ指導に難しい面が見られる。 学生指導と就職指導の重要性を認識し学生に対するきめ細かな指導が必要となっている。	を入学者に読ませ、感想を記述して、学園の教育理 念の理解をうながす。	・「心を育てる心育学の実践」を行っている。 ・毎年高い就職率を示し、卒業生が全国各地で活躍している。 ・小規模校であるのできめ細かな指導が出来る。 ・交通の利便性が良いために、通学しやすい。 ・学生の資質向上の為に、保育技術発表会・保育研究発表会・合唱交換会等各行事を行っている。 ・働きながら学ぶ、II 部の学生減少傾向があり、今後の課題である。 ・高齢者への介護の魅力を伝えていくことが課題である。 ・学生に保育現場で力が発揮出来る課題を課している。 ①折紙帳の作成 ②略画集 ③善行記録

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1·1·1 理念・目 的・育成人材像 は、定められてい るか	□理念にいるかっているかっているかっているかっているといるではないです。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	5 4 4 4 4 4 4	分かりやすく伝えている。 ・シラバスは、新教育課程に基づいて作成にし、学生にも理解出来る様に表している。 ・本校の教育理念、目的は、講話を通じて繰り返し話し、理解をうながす。	・講師には、シラバスに 沿った授業を展開するように依頼している。 ・「学びやすい授業とは」 常に課題意識を持ちながら運営している。 ・学校のホームページは、常に新しい情報を載せている。 ・学校を分かりやすく、 理解して貰う工夫を繰	念目的は、このまま継承 このまたい。 ・学生の生活では、 ・学生のとり見いでは、 ・学生人をり見いでは、 ・学生人では、 ・では	学校説明会資料 学校案内 学生のしおり<学 生便覧> 学則 シラバス集 ホームページ
1-1-2 育成人材像 は専門分野に関 連する業界等の 人材ニーズに適 合しているか	□課程(学科)毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか□教育課程、授業計画(シラバス)等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4	・開校以来卒業生、先輩 方の努力が、次に続く者 の指針になっている。 ・実習場・介護実習場と 関連業と連絡を取り合 って良い関係を保って いる。	・保育者・介護者に取って必要な知識、技能を身につけ、その後就職した際に生かされるようにしたい。	年では、保育技術発表 会、介護報告会のレベル	<ul><li>・学校説明会資料</li><li>・学校案内</li><li>・シラバス</li><li>・実習の手引き</li><li>・学生のしおり</li></ul>

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	□専任・兼任(非常勤)にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか □学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか □教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	4	・教員の採用においては、 教員の知識・技能・人間 性、必要要件が満ちてい ることを確認 ・実習先とは詳細な連絡 を取り合い、実習先で行 うパネルシアターが好評 を博している。	学校生活において、保 育技術等の習得は、保育 の現場で直ぐに活用が 出来る。保育技術にのみ ならず、知能・技能共に 教育課程の中に生かせ るようにしたい。		
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	□理念等の達成に向け特色 ある教育活動に取組んでいるか □特色ある職業実践教育に 取組んでいるか	4	・全校集会時には、必ず 学園の基本方針を書い た物を紹介し、気持ちを 新たにしている。	課題意識が持てるよう に今後も取り組んでい く。 演習科目の指導方法 を充実させる。	に出たときに大きな力 になることを受けて、き	· ·
1-1-4 社会のニー ズ等を踏まえた 将来構想を抱い ているか	□中期的(3~5 年程度)視点で、学校の将来構想を定めているか □学校の将来構想を教職員に周知しているか □学校の将来構想を教職員に周知しているか □学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4 4	・保育の資格、幼稚園の 資格、介護の資格を持つ ことで、現場のノーズに 合った資格要件を満た す。 ・保育・介護の両資格は、 生涯に渡ってプロとし ての働きを保証する。	新教育課程を見直し検討する。		学園だより

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
職業に対する意識を育てつつ、勉学に取り組むのが専門学校の使命と考えている。 学生の一人ひとりの意欲を縦続させることが課題と受け止めている。	入学当初は、志を持っていた者が次第に受け身になり、目標が見なくなる事がある。常に問題に取り組める様に育成に努めていく。

# 基準2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校は、10,000名を越える、卒業生を送り出し、全国各地で活躍している。その実績におぼれること無く現在の厳しい状況の中で確実な学校運営をする事が重要と考える。現在保育士・介護士不足が叫ばれ卒業生は大きな期待の基、仕事に当たっている。故に、本校は、その養成に対して学習能力、生活面、進路面での3点について、目標を設定し、水準を引き上げる指導を目指していく。現在、入学者数が減少傾向にあり、財政面で伸び悩み納入金の確保が課題となっている。良い人材を育てるには、良い講師陣の確保と設備の充実が不可欠となっている。どちらも財政的な裏付けが必要な面となっている。		変わり新しい制度に切り替わり、保育士養成課程の 改定に伴い新教育課程の授業が順次学年毎に切り 替わっている。 ・今年度の昼間 I 部生・夜間 II 部生・介護福祉士専 攻科は、定員に達することが出来なかった。

## 2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を 定めているか	□運営方針を文書化するなど明確に定めているか □運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか □運営方針を教職員等に周知しているか □運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4 4 4	職員会議等、冒頭校長より、学園の理念、目指すべき姿を繰り返し示している。 学生集会の折りに講話をして意識付けをしている。	しいつでも目を通す事 が出来る。	開かれた学校である為 に職員、講師からの様々 な意見を集約し改善に 努めている。 職員の意識改革が対せ 必要である。	学校案内

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
職員会議の折に、運営方針を示し、学校説明会の折にも話す機会があり理解していると考える。	運営方針は、創設者の理念を本巻とし、開校当時から受け継がれている。

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系治

#### 2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達 成するための事 業計画を定めて いるか	□中期計画(3~5 年程度) を定めているか □単年度の事業計画を定めているか □事業計画に予算、事業目標等を明示しているか □事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか □事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4 4 4 4	・学園の目的目標を記した基本計画がある。 ・学生のしおり、シラボス集に基本計画は日程にある。 ・事業に基本のは日程にいる。 ・事業連営されて概要とまた教職員組織の担を実に表が、教職員組織の担を実施している。 ・事業計画の執行後は、内では、内では、内では、内では、	・学生・教職員に、学生 のしおり、シラバス集を 配布して読んで理解し 共通に認識している。 ・それぞれが業務分担を ししながら行っている が、時に提携を取りなが ら運営していくことが 大切な場合も有る。	直しより良い活動に改善したい。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年繰り返される事業計画は、特に新鮮さを見失いがち多面的な意見等を取り入れ改善策としたい。	事業計画は、前年度で行った反省を行い次年度に反映する事を繰り返えし、次第に計画が洗練されていく。

**最終更新日付** 令和7年3月1日 **記載責任者** 高橋 系治

#### 2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は 組織運営を適切 に行っているか	□理事会、評議員会は、寄附 行為に基づき適切に開催し ているか □理事会等は必要な審議を 行い、適切に議事録を作成し ているか □寄附行為は、必要に応じて 適正な手続きを経て改正し ているか	4 4	・理事会、評議委員会は、 適切に開催し、議事録も 作成されている。 ・寄附行為は、必要に応 じて適切に改正され処 理されている。	・法人内の様々な問題を 理事・評議委員の方々に 率直に提案頂き前向き に検討がされている。	・入学者数をどのような 滑動を行う事で回復さ せるかが課題	学校法人道灌山学 園評議委員名簿
2-4-2 学校運営の ための組織を整 備しているか	□学校組織を整備してというでは、本事をなるとは、本事をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	4 4 4 4 4	・教職員組織のでである。 ・教職員組織のでである。 ・教職員とは、 の の 毎年 といる の 毎年 といる の 毎年 といる の 毎年 といる で まままます。 ・ は 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一	・各部署が責任を持ってる 問題に取り組んされる。 が、り良い形が期待でいるとれる。 ・部門間の意見を部分である。 ・部の意見を部分である。 ・部の意見が、直必要ではがいる。 ・個々人の経験でる部分が見られる。 ・進められる。	・各部門が前向きに問題に対して取り組む 姿勢が見られ今後も 更に進めて欲しい。	教職員組織の概要

2-4 (2/2)

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる 事務職員の意欲及び資質の 向上への取組みを行ってい るか			仕事内容が多岐に渡り、専門性を帯びてくるので一人の責任の重さがかかってくる。	通理解しておくと業務	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系治

## 2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与 に関する制度を 整備しているか	□採用基準・採用手続きにつ切に運用しているかに運用しているかに運用しているがとが、があるとでは、のでは、があるとでは、があるとでは、があるとでは、があるとでは、があるとでは、があるとでは、があるとでは、があるとでは、では、があるとでは、では、があるとでは、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	4 3 4 4	採用手続きについて明れている。 学外の力も利用しな。 学外の力も利に運用しな。 学外の力も利にではある。 学外の力も利にでいる。 学外の力も利にでいる。 お与規定に基づいる。 料に運用をしてある。 程でいる。 程でいる。 程でいる。 根間に乗れては規野には、 人でいる。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。	学校の組織も小さく、制度として全て明確になっていない。 給与支給等に関する基準・人事考課の実態は公表されていない。		道灌山学園給与規 程

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
文部科学省及び厚生労働省の規程に関する人材配置で進めているが、時に要	幼稚園教員養成・保育士養成・介護福祉士専攻科のそれぞれの科の資格要件
件に満たない時があり、困難を伴う場合が少なからずある。	に合う教員構成が満たされるように努めている。

## 2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定シ ステムを整備し ているか	□教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか □意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか □意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4	理事会の基に各組織が を開いまでは、 を関いまり、 の基に職現の の基に職現の の具に提展を では、 の基に提展を では、 の表には、 の表には、 の表には、 のまるが。 のまるがが、 は、当画しし、 のは、 のが、ようには、 のの中ででいる。 をできる。 をできるが、 をできるが、 をできるが、 をできるが、 をできるが、 をできるが、 のの中では、 のの中では、 ののでは、	その都度問題点を提言し、決定必要に応じて理 事会、委員に判断を仰 ぐ。		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
小規模校で意志の疎通をよくするために、教職員がワンフロアーにまとまった構図になっているために細かな打ち合わせが直接行え、意思の疎通が図りやすくなっている。	

取代的工作   令相(午3月1日   配取其任有   尚儁 糸宿	最終更新日付 令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治
----------------------------------	-----------------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システ ム化に取組み、業 務の効率化を図 っているか	□学生に関する情報に関する情報に関する情報に関する情報にに関する情報には、 と	4 4 3 3	学生ステンシースを 理システンシーの を理して、 の主に、 の主に、 の主に、 の主に、 の主に、 の主に、 の主に、 の主に、 の主に、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが	教職員がシステムに 関心を持ち、活用する 力が育っているが、個 人の判断での運用が見 られる。	具体事例の研究を行 い、その精度を上げて	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校では、IT の活用によって、時間の節約、学生の教育環境を格段に良い形を構築している。現在システムの在り方を、理事会等を通じて共有化レベルの均等化を計っていきたい。	学生が IT を活用する事は世の中では、当然の流れとなっており、システムを 更に広げていきたい。

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治

# 基準3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学園の教育の根幹である、 (1)保育の心構えに関しては、教育すると言う生きがいのある仕事である。「幼児たちの喜び、保護者の喜び、やがて自分自身の喜びに通ずる」仕事である。 (2)心育学では、人を氷山に例えると、水面上の部分は「頭が良い、良い成績、良い」だけで人を評価しがちである。もっと大切なことは、氷山の水中部分に有って、それは、「優しさ、親切、思いやり」などの情操と「やる気、根気、我慢」の意欲でこれが人間性で有り、これを育てることが必要。即ちこの部分を育てることが心育学での教育の根幹である。 (3)幼児教育の8則の実践では、①明るい挨拶の一言で心が通ずる②話し合いは栄養になる、③目線をそろえて笑顔で挨拶する、④相手の話を良く聞く⑤謙虚で親切な心をいつも持つ⑥教育の専門職である自覚を忘れない⑦楽しい話題、保育技術を身につける⑧気づいて楽しい保育を行う、以上の実践を呼びかけが大切としている。	教育課程にかかわる委員会を設置し教育課程の見直しを行い、定期的に改訂をすることで、教育の向上を行う。今後教員の資質向上をどのよう向上して行ったら良いか検討課題とする。	1966年に教員養成所として創設以来、1万名を超える卒業生を輩出し、教員・保育士・介護福祉士の養成機関として、大きな期待を受けている。その取り組みは、①教育課程 ②授業の充実 ③学生の保育技術・技能の向上 ④研究・監修の参加奨励 ⑤学生確保 ⑥就職指導の徹底 ⑦教育相談活動の充実に裏付けられると考えている。

## 3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	□教育課程の編成方針、実施 方針を文書化するなど明確 に定めているか □職業教育に関する方針を 定めているか □学科毎に目標とする教育 到達レベルを明示している か □教育到達レベルは、理念等	4 4 4	教育課程の編成方針、 実施方針はシラバス集に 記載し、教職員及び学生 にも配布して理解が出来 る様に推進している。 学科毎の教育到達レベ ルは、シラバス集に明示 し、教育到達レベルは、 適宜判断を行い適正に運	理念等に沿った教育課程 の編成方針、実施方針を 今後も定期的に見直して 確約したい。 目標の達成について、学 生ごとに把握し、細かく 指導を行わなければなら ない。	社会状況に応じて変革しなければならない部分、守っていくべき姿、的確に考える必要がある。 把握に基づき指導の ねらいを再確認する。	学生のしおり シラバス集 シラバス集
THE COLUMN	に適合しているか □資格・免許の取得を目指す 学科において、取得の意義及 び取得指導・支援体制を明確 にしているか □資格・免許取得を教育到達 レベルとしている学科では、 取得指導・支援体制を整備し ているか	4	用している。 資格・免許の取得指導・支援体制を明確にしながら行っている。	7& V **o		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
心を育てる」明確な本校の教育目標を掲げ、実践的な保育者、介護者を養成することを目指している。シラバスには、授業計画のみならず、指導展開、成績の評価の方法等も明確に定めている。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治

#### 3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・ 目標に沿った表 育課程を編成し ているか	□はる□育し□□で適□でででででででででででででででででででででででででででででででで	4 4 4 4 4	文部科学では、	項について必修科目と して確実に履修する事 が義務付けられその見 直しを速やかな改善が	ることが出来た。今後も	授業の概要

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	□職業実践教育の視点で教育方法・教育方法・教育方法・教が 同内容・教育方法・教か □単位制の学科において、 履修科目の登録についるか □授業科目について授業 団が大力にないて受験が □大力にないてである。 □大力にないでである。 □大力にないでである。 □大力にないでである。 □大力にないでである。 □大力にないるが、 □大力にないるか、 □大力にない。 □	4 4 4	理論と実践を合わせ、 実践的な指導する力を 身につけるための工夫 を行っている。 授業科目においては、 シラバス・コマシラバス を作成し、内容について は自己採点し見直し、 業評価を通じて改善を 行っている。	考えられる。 授業時間割は、年々複 雑に構成されるが、その 年度、年度で見直し授業	一番学生に実力を付けることが出来るか考え、 実践教育をおこなう。 土曜日の扱い・音楽Ⅱの 様な個人の技量を高め	
3-9-2 教育課程に ついて外部の意 見を反映してい るか	□教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか □教育課程の編成及び改定においるか □教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っるか □職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4 4	前期・後期毎に授業評価 を行い講師先生方の指 導の見直し、授業の改善 を行っている。 指導大学であるお茶の 水大学の指導意見を、 映し、また、実習先、就 職した卒業生の意うに行って いる。	に取り行っているが、全体の取り組みとして生かされていない。 指導大学からの意見を受け止め、次への展開を計るまでに時間が掛か	がら、更に良い内容に展 開出来る工夫を迅速に 重ねることが大切。	
3-9-3 キャリア教 育を実施してい るか	□キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか □キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4	キャリア教育の実施に あたり、意義や指導方法 について、キャリア教育 に付いての教育内容・教 育方法・教材について工 夫している。	ア教育についての位置	キャリア教育については、今後共検討を重ね良いシステムを構築していく。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	実習巡回指導で意見聴 取を行い、その反省を次 に生かすように行って いる。			
3-9-4 授業評価を 実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか □学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を 行っているか □授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか □教員にフィードバックする等、授業評価結果を改善に活用しているか	4 4 4	前期・後期で授業評価 を行い、その意見は業子のされての されているというでは、 要習の現場か応はを 実習のもなりでする。 実にありまれていると まではいるでする。 まに対した。 までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 など、 など、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	授業評価をする事でその意見は次半期授業に 適格に反映したいが解 析に手間がかかり遅れ 気味となっている。	毎回最終講義は定期試験が行われるために2 回前にホームルーる等、 回前を配り回収する等、 早期の回収分析を心掛ける。 安静的なフリーアンサーを有効に活用するように伝える。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
文部科学省・厚生労働省から指定された学科全てを教育課程に入れて、体系	保育士・幼稚園教員のニーズが社会情勢より高まりを見せている。就職先よ
的適切に設定している。シラバス作成に当たっては、学生が意欲的に学べる	り良い記保育者・良き教員の要望が出され学園に大きな期待が寄せられてい
授業、具体的な事例に沿った授業を展開して頂いている。それは授業評価、	る。
より読み込むことが出来、検討を重ね客観的に積み上げていくことが重要と	コロナ禍でやむを得ずオンライン授業を行ったが、オンライン授業も有効
考える。	な面もあり、科目によっては積極的に活用することで教育効果を上げられる
	ことも考えられ、研究課題としたい。

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治

#### 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	□成績評価の基準について、 学則等に規定するなど明確 にし、かつ、学生等に明示し ているか □成績評価の基準を適切に 運用するため、会議等を開く など客観性・統一性の確保に 取組んでいるか □入学前の履修、他の教育機 関の履修の認定について、学 則等に規定し、適切に運用し ているか	4 4	成績の評価の基準については学則第3章 履修方法・課程修了認定及び卒業(単位の授与)第10条で明記され、学生しおりに知らせている。職員会議には、学生の授業態度並びに成績がされている。	教科科目については担 当教員の評価を尊重し 客観的に対応し、個別の 指導の必要な場合には その都度クラス担任か らその状況を聞くこと がある。その後の指導に 生かす必要がある。	ての科目の報告を行い、 客観的な対応を確認し	学生しおり<学生 便覧> 学則
3-10-2 作品及び 技術等の発表に おける成果を把 握しているか	□在校生のコンテスト参加 における受賞状況、研究業績 等を把握しているか	4	保育技術発表会・保育研究発表会・ピアノ発表会・ピアノ発表会・ピアノ発表会・合唱交換会等行いな活 奨している。対外的な活 躍で全国大会に参加出場で秀でた成績の学生 を集会等で学内でも紹介し、表彰する時を持つ。	は時間・場所・教材を提	ては意欲的に取り組む	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育課程に示された科目を1年間・2年間又は3年間の学年末に全職員参加による成績判定会議を開き、一人ひとりの成績を取り上げ問題点の検討をする。	
る。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治

#### 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とす る資格・免許は、 教育課程上で、明 確に位置づけて いるか	□取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか □資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	入学説明会の際に志の ある事が大切との考え から、資格・免許の内容 について繰り返し説明 している。 授業科目についてクラ ス担任から説明し、特別 講座については年間計 画で推進している。	目標を持ち入学したに もかかわらず、時に他力 本願になる者がおり、ホ ームルームで保育者・介 護者の意識を高める工 夫が必要である。	同じ志を持つ者同士が 目標を持ちながら生活 を通じ高い意識を維持 するように指導強化す る。	
3-11-2 資格・免許 取得の指導体制 はあるか	□資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか □不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	資格・免許の取得について担当教員が指導している。 成績不振の為再履修の場合、次年度に履修させる	卒業後の指導体制については、研修会開催し卒業後も勉強出来る環境を整える必要がある。	年間計画での実践が必要である。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育課程に示された、教科科目を履修する事で資格が、取得出来る。講義・ 演習・実習・実技等丁寧に学ぶことで得ることが出来る	常に目標意識を学校生活に位置付けておくことで、目標を見失わないようにする。

	最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治
--	--------	----------	-------	-------

## 3-12 教員•教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件 を備えた教員を 確保しているか	□授業科目を担力・資 関連を担力・資 関連を記しているのでは、 関連を記しているのでは、 関連を記しては、 のでは、 ののでは、 の	4 4 4 3 3 3 4	資を報に書のる保さて参上 専女師用 教回しる。 おいて 活薦績価 、勤の 授検でのを開したいで推実評価 、一、時間ののでは、一、時間ののでは、一、時間のでは、一、一、時間のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	学生を育てる重要な部分となるだけに中期・長期視点に立って計画し適切な人事配置が出来る様に進めて行く必要がある。 授業科目依頼する場合	財政面での検討も視野 に入れながら進めて行	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資 質向上への取組 みを行っている か	握・評価しているか	4 3 3	教員の資質向上の研修 は個々に委ねられてい る。介護では、研修会が ありそれに参加する事 によりグレードアップ が計られている。	<u> </u>	に掲載することで各自 の研修報告が出来る機 会としたい。	研究紀要
3-12-3 教員の組 織体制を整備し ているか		4 4 4 4	教員組織の体制を整備 している。 教員組織における業務 分担責任体制は、組織図 で示されている。 学科毎の授業科目担当 教員間で話し合い 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		決まった時間、決まった曜日での講義であるために横の繋がりが乏しい事が見られる。時間割変更等があるとあらたな協力体制が生まれそんな機会を大切にしたい。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
研究紀要に研究の成果を掲載することで各教員の研究を発表する場とし意識向上に努めている。	研究日、環境、費用に関し考慮すると共に、成果の表出の機会の付与。

星级面新口付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治
取称史材口的	77111   十3月1日	心蚁具在名	同倫 水伯

# 基準4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入学してから卒業までの学生生活を真面目に取り組む者が多い為、学習面に対して、真剣に取り組んでいる。その為資格取得率も高く卒業後の社会的評価からも、学修成果は高く評価出来る。 一方目標を見失いがちな学生も見られ、学修意欲、欠席が見られる様になると、学生指導を丁寧に行うようにしている。個別の相談時には、家族含めての話し合いにあることもある。 基本的生活習慣や日常生活の中の社会的マナーが身についていない行動が見られる。それについては、学生集会やホームルームの際に話す等、学生指導に努力を重ねていきたい。 施設実習などコロナ禍に有って、学内演習に切り替えて行ったが、現場実習との差異の検証が必要。	教育課程に加えて、特別講義や実習講義、実習報告会、就職ガイダンス等組み入れた講義はあるものの時間割の関係より、効果的に取り入れていくようにしたい。 付属園でのイベントに参加することで、日常の生活のみならず、幼児の生活の色々な活動が、学べるよい機会となっている。 イベントには、学生の企画した充実した時間、参加園児は、学生さんとの触れ合いの楽しさを感ずる養成校ならではの、経験する時間となっている。	い風となり安定した就職の場を確保している。 就職を希望する学生は、就職ができる状況は、ここ 数年間は大丈夫との見方であるが、待機児が解消さ れた後は、しつが問われることとなるので一人ひと りの力が試される時代となる。力のある学生の育成 が増々大切である。引き締めてかからなければなら

#### 4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の 向上が図られて いるか	□就職率に関する目標設定はあるか □学生の就職活動を把握しているか □学生の就職活動を把握しているか □専門分野と関連する業しているが □関連する企業等と共催うないるが □関連する企業等と共行う界をがいるが、説職セミナー」関連業と連携しているがと連携しているがである。	4	就職指導をは、党職とに、党職には、党職には、対議を望れた。のでは、対策を望れたが、対策を関するが、大きのが、大きのが、大きのが、大きのが、大きのが、大きのが、大きのが、大きの	近年企業系の求人。 実系の求人。 実系ではのようにでは、 生のようにでは、 を対しては、 を対しては、 を対しては、 を対しては、 を対しては、 を対しては、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 を対し、 をがし、	多く寄せられるように なっている。就職 定するにあたり、就職 担当教員と問題点を 担当教員と問題点を し、納得のいく なるようにしたい。 実習先の付き合いのあ る幼稚園・保育園に対	学生のしおり<学生便覧> 就職のしおり 求人票

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
求人数が多いことは、学生にとり選択肢が有り選択に迷っている事が多くみられる。職業意識と現実との差が起こらないように就職指導を丁寧に行い、 就職希望のある物は希望が叶っている。学生も就職することに対して積極的 である。	就職を希望する者は100%達成しており、今年は幼稚園と保育園の割合

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	阿部 恵
	14 111 1 1 0 / 4 2 11		1 4 11 11 1 11

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許 取得率の向上が 図られているか	□資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。□特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。□合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。□指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。□な善を行っているか。□	4 4 4	資格・免許取得率の目標は、達成しているが、未到達の学生に対しては、大利達の学生に対しては、大利値別指導を含っては、指導を行って確いる。特別講座、授業を補取り、大利講を行っている。	日頃の授業が資格・免 許に取得に必要な勉強 であることを認識する 自覚を持たせることが 大切と考える。	日常に流され、やや・学 すると勉強見失うことがある。 生の目標を異で動向 を大きないることが前向に といるように を を を と が は と が は と が る こ と り る 、 と り る 、 と り る 、 と り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	シラバス集 出席簿 学籍簿

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
幼稚園教員資格・保育士資格・介護福祉士資格が卒業と同時にとれることに 教職員全力を挙げて指導に励み、時には厳しく、時には寄り添いながら指導 に当たり、学生も指導に応えている。 資格を生かした仕事に大半が就職しているので、専門学校の生きる姿を理解	
している。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	阿部 恵

#### 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社 会的評価を把握し ているか	□卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか □卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	同窓会の際、実習訪問、卒業生来校の際等、 情報交換が行われ卒業 生の活躍を確認できる。 卒業生が、研究を応り し優秀賞をとったり 佳作に入ったりその の活躍は学校に報告が 入る。	活躍する姿の収集が不 十分である。 卒業生の話を聞く時間 を作り活躍情報を集め	同窓会と学園とのかかわりは大切である。今後収集、蓄積し提供する、連携の方向性をしっかりしたものにしていきたい。	同窓会名簿

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校創立57年の歳月が過ぎた。卒業生が、幼稚園・保育園・こども園・児童館・介護施設等多くの施設の経営として者、責任者として、中心的な役割を果たしている卒業生が多く輩出している。後に続くものはこの活躍を大切にしながら続いてほしいと考えている。	施設、事業所の責任者として活躍しているものが多く、本校での特別講義

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	阿部 恵

#### 基準 5 学生支援

#### 総括と課題

心身の健康が学校生活の中で大切と考え、入学 早々1学期オリエンテーション時に、健康診断が行 われている。内科検診では、様々な相談を交えて話 をする時間としている。そして気になる様子がある 場合には、早期の検査を進めている。クラス担任と の話の中で、保護者を交えての話し合いが必要とな るとに連絡を取る。

経済面での支援は、学生支援機構や各自治体から の支援を利用し、学生の希望がかなえられるような 選択を行っている。人材不足もあり保育を志す学生 に対して支援の輪が広がるようになってきた。

学生の個々の問題は、クラス担任、副担任を中心 に個人相談を受ける体制を敷いている。

就職・進学指導では、無料職業紹介の承認を受け て行っている。就職指導担当の教員を中心にガイダ ンスを行い、職業に対しての意識付けや、具体的な 指導を行い、就職に対しての希望等聞き個々の学生 に似合った活動を展開している。

働きながら学ぶⅡ部の学生には、幼稚園・保育園 の助手先の就職を進めている。

#### 今後の改善方策

会の複雑な環境から、心の悩みを持つ学生が増え ている。そのような学生に対して専門のカウンセラ 一の必要性が出てきている。

体調を崩す等、体調不良が出た場合、保健室で休 ませて場合によっては、校医の診察を受けて帰宅さ せる等、学生自身の自らの健康管理の在り方に検討 がなされる。

家族の生活を支えながら学ぶ学生の増加がみら れる。そのような学生に対して、支援体制について 授業料の分納、奨学金についてできるだけ学びやす い環境で支援できる体制を整備が必要である。

多くの学生にとり、最終の学習の機会となりその 勉学が、そのまま職業につながっていくケースが多しればならない案件である。 い。将来の人生の生き方を見出す時でもあるので その指導が重要となるので最善の方法で支援して いきたい。

#### 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

学生相談は、クラスの担任・副担任が学生の話を よく聞き対応している、健康相談については、必要 に応じて校医が受入れる体制を整えた。

長年の教員養成、介護士の養成は、保育や介護の 現場より信頼される関係を構築できた。その状態を 今後も維持していくには、歴史や実績に甘んずるこ となく謙虚に受け止めて学生を誠実に指導するこ とで、100パーセントの就職率を維持している。

日本学生支援機構、東京都育英資金、各自治体の 補助金を活用しながら支援を行っている。学校独自 の奨学資金制度や減免制度は設けていない。

将来的に学生数を確保するためにも考慮しなけ

保育科の卒業学年の学生は、保育技術発表会を行 い、介護科では介護体験発表会等の活動、内容が 年々充実しグレードの高いものに引き上げられて いる。

卒業生の活躍が現在の学校を支えている

最終更新日付 令和7年3月1日 記載責任者 髙橋 系治

#### 5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進 路に関する支援 組織体制を整備 しているか	□就職など進整備して変化を動物を整備しているのでは、 の別にでは、 の別にでは、 の別にでは、 の別にでは、 のの	4 4 4 4 4	就職の任任と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	就職に関して に関目で情報と に関目で情報と に関目が極いな で資報を ののののででででででででででででででででででででででででででででででででで	てからの話はよい機会 であるのいと考える。 である良いを考え会で担たののでとりの教職員会で担ける。 定例状況報告を担けない。 就当まれているのができる。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ	就職のしおり 求人票 卒業生就職一覧表 過去の就職問題・記録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職担当の教員を中心に、クラス担任・副担任等学生に関わる教員が連携を 図りながら、学生の就職に対する意識付けをしたい。	就職を希望する学生が保育・教育・介護の現場に就職をしている。
因りながり、子生の別職(C対する息職的で)をしたで。	

## 5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の 低減が図られて いるか	□中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数を把握しているか□指導経過記録を適切に保存しているか□中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか□退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4 4 4	中途退学者の要因、傾向、把握している。 指導経過はその学生の話を聞き、保護を開きまりる。 クラス担任、副担任、校長と問題指導とのおり指導と問題がある。 クラス担任、応応してがある。 欠席状況が一番にでいる。 欠席状況があるトになる。 次席対かのよりになる。	しその対応を検討して いる。様々な要因が求められる。 等な対応がはにいる。 実習を言うにというのがは 学にしまうことがあり重でしまうははい。 実習は保育を志ければない。 実習はなるので何が	学生の様子について は、クラス担任が記録 し指導に役立てる必要 性がある。	学生便覧

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
大方の学生は、保育の資格、介護の資格を得て卒業していくが、その中で目的意識を見失い退学する者がいる。精神的に落ち込んでしまう行動が見られたとき、何が要因であるか早期の対応が求められる。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	阿部 恵

#### 5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談 に関する体制を 整備しているか	□専任カウンセラ組織体制を 等相談に関するか □相談に変現を 相談での設置が 目するでは 関するでは 一学生に対して 一学生に関する案内を 一が 一学生に関するを が 一学性に関するない 日間で のでは 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で 日間で	3 4 4 4 4	クラス担任からに クラス担任からに をよる。 、気においと 気においとと 気においとと を当れてとの を主がいる。 相任、 を主がいる。 相任、 のは何いる。 相ののとの がいる。 はいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がした。 がいる。 がしる。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし。 がし	ある。 必要に応じて他の教職員が対応している。 守秘義務の発生する 内容も含まれるため、 慎重な対応が必要。 相談記録は、聞き取りした内容を記入して 保存している。	クラス担任が、一人 ひとりの様子を把握し 記録することが大切で その中から改善の方策 を見出していく。 問題が多様化し、複 雑な相談内容多くが見	
5-18-2 留学生に 対する相談体制 を整備している か	□留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか □留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか □留学生に対し、就職・進学等本業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか □留学生に関する指導記録を適切に保存しているか		現在留学生の在学は、ない。			

5-18	(2/2)
------	-------

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎日行われるホームルームの中での会話から、クラス担任、副担任が学生の様子を把握しやすく、日常の話から、個々の相談に及ぶことがある。生活が複雑化し、人間関係も多様化している事で、この時期に起こりうる諸問題を	問題性を感じる。この手法は自然な方法で学生も気楽に話し合うことからスタートし、一歩踏み込んだことが必要となった際に指導していきたい。
抱える傾向がある。複雑な心の問題を抱える学生の対応は、専門職の配属で対応していきたい。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	髙橋 系治

## 5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	□学校独立の表示を 整備と をを を を を を を を を を を を を を	3 4 3 4 4 4	日本学生支援機構、自社なののののでは、大自急では、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急でで、大自急で、大自急	きが進められ、奨学と をの制度は一寸生の、経済の をの制度は各学生である。 学費に選びである。 学費に選びではるが、はるがでいて、 制度をして、等い、はるが、という を対応したが、はるが、といいがである。 利用実績をいいがによい。 利用実績をによるが、といい。 利用実績をによるが、といい。	を今後検討していきたい。 分納制度のあるために入学が可能とることのらいる。 分学が可能となっとからいる学生もいることのらいからもを知られることがあるとがきたい。 入学説明さることが支援	
5-19-2 学生の健 康管理を行う体 制を整備してい るか	□学校保健計画を定めているか □学校医を選任しているか □保健室を整備し専門職員 を配置しているか □定期健康診断を実施して 記録を保存しているか □有所見者の再健診につい て適切に対応しているか	4 4 3 4 4	校医を中心に計画を 定めている。 保健室を整備し利用 者の状況を担当がチェ ックしている。 定期健康診断を実施 している。 再健診については適 切に実施している。	学校行事と健康診断の時期に調整が難しい。 学生健康管理担当を中心に連携して指導が不足気味である。 定期健康診断の記録は実習の際に利用される。	保健計画は昨年の計画を 見直し校医の意見を入れて 定めている。 新型コロナウイルス感染 症のために臨時に、繰り し対応方法が検討があった。 健康に関しては自己管理 である部分が多いので学生 自身の健康管理について 識付けしていきたい。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き 5-19-3 学生寮の 歌 異なばれ 近西	□健康に関する啓発及び教育を行っているか□心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか□近隣の医療機関との連携はあるか□遠隔地から就学する学生のために寮を整備している	4 3 4	集会において自己管理を徹底するように随時、話をして意識付けをしている。 校医と相談をして対応している。 遠隔地からの学生を	充分出来ているとは言い難い。 実習時に既往歴の件で実習先とトラブルのケースあり。 年々地方からの入学	に自身の育児手帳に予 防接種の過去歴が記載 されているのが重要で あることをあらかじめ 認識する必要がある。	入寮のしおり
設置など生活環 境支援体制を整 備しているか	か □学生寮の管理体制、委託 業務、生活指導体制等は明 確になっているか □学生寮の数、利用人員、 充足状況は、明確になって いるか	4	2つある寮で受け入れている。 管理体制が整っている。入寮と同時に両会議を行いそこで寮生活の決まりを確認している。 地方からの学生が少	寮管理も含めて自主運営は難しい。 寮生の社会生活が、 地域の社会人としてマ	入寮時に寮長を決めて運営をさせているが、生活の 決まりが守れないことが多い。 学校と同じ地域の自治会で生活しているため。ゴミの出し方等ルールを守ることが大切	
5-19-4 課外活動 に対する支援体 制を整備してい るか	□クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか□大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか□大会成績など実績を把握しているか		クラブ活動は、行って いない。			

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
各支援体制を利用しながら学ぶ学生多く見られるようにがなった。支援体制 の有効性を検討し奨学生になった自覚を持ち、将来返済の義務等社会規範を 指導していきたい。	公的支援や各自治体の補助金が必要な学生は、情報をしっかり提供し活用してもらっている。学校独自の奨学制度、減免制度は設けていない。 実習前には健康診断書、細菌検査書を実習園に提出し、健康であることを示
学生の定期健康診断は健康管理担当が中心になり運営している。	している。

## 5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者と の連携体制を構 築しているか	□保護者会の開催等、学校の教育活動に行ってである。 関するるの関するのではできます。 「報子をできます。 「報子をできます。」 「報子をできます。 「日本のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	4 4 4	道灌山学、保護者にいる。 とま者にいただる。 個をとという。 個のは、人間では、人間では、 ののは、人間では、 ののは、 のののでは、 のの	多くの保護者に説明する機会は、多いが入学後は直接話をする機会が少ない。 学生・保護者・担任の3者面談の要請に応じきれていない。	発表会、体育祭等の行事にお越しいただく機会を設定しているが、 参加は難しい所がある。	道灌山学園たより

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
クラス担任と保護者は、連絡の取れる体制がある。 保護者会としての組織はなく、気になる問題がある場合、個別に対応する体 制が整っている。	保護者に行事ごとに呼び掛けているが参加者数が多くない。積極的な呼びかけを考える必要性がある。

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	重枝 絹子

### 5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生へ の支援体制を整 備しているか 5-21-2 産学連携	□同窓会を組織し、活動状況を把握しているか □再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に対応しているか □卒業後のキャリアプのための講座等を開講しているか □本業後の研究活動に対する支援を行っているか □本業を行っているか □本業界・戦に団体等と	4 4 3 4	相談を聞き、就職の情報を知らせている。 学校主催の研究会の 案内に積極的に参加が 見られる 産学関連の再教育の	相談があると、就職 の紹介等支援体制を整	の力を上手に活用して	道灌山学園だより
による卒業後の 再教育プログラ ムの開発・実施に 取組んでいるか	再教育プログラムについて 共同開発等を行っているか □学会・研究会活動におい て、関連業界等と連携・協 力を行っているか		プログラムは行ってい ない。			
5-21-3 社会人の ニーズを踏まえ た教育環境を整 備しているか	□社会人経験者の学にによる人とでは、入学前の関等にないを学りでは、 一社会人学がでは、 一社会人学を学りでは、 のがは、 のがは、	3 4 4	入学説明会におい 説明し、繰りよう とでいただく している。 社会人学生に配慮を は、同じ体制のらっ は、同じなもらっ は、関してもらっ を展開してもらっ を展開してもらっ を展が深く、他の学生の 横範となっている。	学ぶ社会人経験者の入 学が減少傾向にある。 長期履修制度につい ては、検討していきた	を生かすことのでき る、貴重な人材でもあ	F 01 (0/0)

5-21 (2/2)

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
	多くの卒業生が、学校で学んだことを土台に活躍している。その卒業生の声を実習訪問で聞くことができる。卒業生の声をフィードバックして在校生にその声を伝え学校の伝統を守りたい。

最終更新日付

令和7年3月1日

記載責任者

阿部 恵

## 基準6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
平成 27 年 1 月に 4 年間かかった改築工事が終了し竣工式を迎えることができた。一号館は、教室中心 2 号館は特別教室を備える施設となった。 教育に必要な施設・設備・体育用具・音楽関連施設・パソコン関連施設・造形関連施設・図書施設等十分な教育施設として完備することができた。 学生が、保育・介護の免許を取得するうえで 必要な環境は提供することができるようになった。 音楽環境では、ピアノを練習するために電子ピアノを導入、いつでも練習ができる環境を整えた。 図書関係では、調べたいことがいつで探すことができ、勉強したいときに学習できる環境が整った。 ハード面は整えることができた。これからはソフト面に力を入れる必要がある。 防災に対して安全対策も組織体制を整備している。避難訓練も実施し防災についての安全教育を行っている。	環境面での整備は整い、学生がこの施設を十分に使いこなしていく利用の仕組みと、導きが求められる。 実習面では、実習場所の確保が行われている。前年度の実習状況が前向きであると次年度も受け入れが可能となり、良い連鎖が続く、実習園とも良い関係性が継続するように行いたい。 3、11の東北大震災を受けて、常に起こりうる意識を持ちながら、万全の体制を整え 定期的に避難訓練を行い、学生に危機管理と行動の在り方を知らせたい。	

### 6-22 施設·設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の が要性に大変性に を を を を を を を を を を を を を	□施設・設備・機器に高か 学品 という はいます はいます はいます はいます はいます はいます ではいます ではいます ではいます では、 一 では、 「 では、 一 では、 「 では、 「 では、 」 では、 「 では、 」 では、 「 では、 」 では、 「 で	5 4 5 4 4 4	施設、適当とととととととととととととととととととととととととととととととととととと	定期的な保安点検、しばらくは大規模な改われる。	に行い修繕箇所が見ら	

6-22 (2/2)

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
古い校舎から、平成27年1月に新しい校舎に改築され教育環境を整えること	施設の有効な利用の必要性を呼び掛け、その成果は、自分たちが作り出すも
ができた。施設・設備・教育用具も整備し学生には有効な利用の仕方を呼び	のという事を教育している。加えて毎日自分たちが使ったところは、自分た
掛けている。	ちで掃除する等、当番を決めて自分たちで自主的に行っている。
	次の利用者への配慮として当たり前の清掃を行う、社会性も合わせて教育す
	る。

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太

### 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、 インターンシップ、海外研修等の 実施体制を整備 しているか	□義を□施し□るる□評か□関の□つ□をか□界等に出る□評等等に関すにのののののののののののののののののののののののののののののののののの	4 4 4 4 5 5 4	学の位行 をて 関よし成に学のを まい 存案せ 卒業等関よ 実やけい という という という という という という とり という とり という とり	を を を を を を を を を を を を を を	識を育てていきたい。 実習の重要性と参画の 動機付けを教科以外の	実習の手引き実習の評価表

6-23 (2/2)

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育実習・保育実習・介護実習は免許を取得するためには重要な教育実践	
に関する科目であることを認識し、学生には、その大切さについて、授業を	
通じて指導している。実習から戻ってくる学生は達成した喜びと自信を得た	
表情になる。	
海外研修は行っていないが、海外の幼児教育に興味を持つ学生が短期間で	
研修を受けて帰ってくるケースが増えている。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太

### 6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	□学校防災に関する計画、 消防や災害を生ニュアルトででは、 が変更ができませるができませるができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	4 5 5 4 4	学校防災に関、 で消防体 で関、 で関すの で関すの で関すの では では では では では では では では では では	校舎の改築が平成 27 年に建て替えた施設・ 建物・設備は安全であ るが、予測のつかない 出来事にも対応する心 構えが必要である。		消防保守点檢 消防計画書 避難訓練計画書 校內配置図
6-24-2 学内にお ける安全管理体 制を整備し、適切 に運用している か	□学校安全計画を策定しているか □学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか □授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4 4	学校安全計画をたて ている。 防犯カメラが設置されており、玄関も門は 施錠されている。 授業中に発生した事 故に対して対応マニュ アルを作成している。			

6-24 (2/2)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課	題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	□薬品等の危険物の管理に おいて、定期的にチェック を行うなど適切に対応して いるか □担当教員の明確化など学 外実習等の安全管理体制を 整備しているか	4	薬品の管理は定期的に使用期限を確認し、 入れ替えを適切に対応している。 学外実習での怪我や 事故の対応はクラス担 任が対応しその後、 切に図られている。				安全衛生委員会議事録

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
防災に対する組織体制を整備している。安全管理体制も整っている。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太

## 基準7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
高校で開かれる学校説明会に積極的に参加し、保育の道を志す者に学園の教育をわかりやすく説明している。新入生の中に、説明会に参加して入学を決めた者が多くいる。直接学生にアプローチする重要性を感じている。対象生徒の多くは、高校在学1年・2年時で志を決定する者も多く18歳人口が減少の中、幅広い層から募集を考えることが大切になる。入学選考は、AO入試は行っていない。学生の学力を見て選考を行っている。学力が不十分な者は、入学してから授業についていけないケースが散見されるため選考を行っている。入学選考基準は、明確にされ適切に選考が行われている。	タを適切に蓄積し分析することが重要と考える。 18歳人口の減少に伴い、毎年受験してくださる高校の先生方に、入学した学生の活躍を知らせる方法を模索したい。 入学選考では、ここのところ受験者数の減少傾向がみられるので短時間で学生の本質を見定める必	学費が支払い易いように分納制度を利用する者が多くシステムを利用する者が多くなった。 授業料は、保護者の負担、時には自己資金で入学する学生もいるので、それらにとり負担感のない費用を配慮し設定している。 入学を一度は志したが、入学後辞退者に対しての取り扱いは適切に対処している。

### 7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校 等接続する教育 機関に対する情 報提供に取組ん でいるか	□高等学校等における進学 説明会に参加し教育活動等 の情報提供を行っているか □高等学校等の教職員に対 する入学説明会を実施して いるか □教員又は保護者向けの 「学校案内」等を作成して いるか	5 2 4	高等学校等の私学説明会に参加し、学園の教育方針や活動状況を丁寧に説明している。高等学校の教職員に対して説明をする機会がない。 入学を考えて説明会かない。 入学を考えている会別を作成している。	広報企業の企画に参加し説明会を開催している、今後も良い企画があれば考えていきたい。	高等学校との関連の結びつきを信頼ある物にしていきたい。 18歳年齢の減少に対して対策を考えていく必要がある。	学校説明会資料
7-25-2 学生募集 を適切、かつ、効 果的に行ってい るか	□入学時期に 田の受けに に関の に関の に関いる に関いる で学したが に関いる で学したが にのでは にの学校したが で学したが にのでが活動ができる にのでが活動ができる。 では、 ではいいでのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	5 5 5 5	入学時期に照らし、適 切に願書の受付を開始 している。	細目に個別相談会を 行い入学志望者の聞き たいとこ、不安に思う 事、丁寧に聞き取って いるが、更にわりやす く対応したい。	保育実践を短時間で行うと志望者にとって大変参考になるようであるので、より一層深めていきたい。	学校説明会資料 募集要項 入学案内 道灌山学園だより

7-25 (2/2)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	□体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか □志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか		学校説明会 8 回個別相 談会 21 回を開催し、多 くの情報を多様な志望 者に提供している。 指定校推薦入試・O A入試は行っていない。	学校をより深く理解 していただくため開催 していただましたの開催 まざまに工夫しずインの活用などが必要ないの活用なが必要ながあれば取り組んでいまかい。 受験者の変化に応する必要がある。	のような内容が学校理 解に有効か今後も検討	学校説明会資料 募集要項 学校案内

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入学希望の志願者に対して積極的に情報を提供している。保育・介護を目指 す学生募集は、適切に、効果的に行っているが、広く学園を知らせる方法を	
9 子生券来は、適切に、効木的に行うているが、広く子園を知らせる方伝を これからも考えていきたい。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太

#### 7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考 基準を明確化し、 適切に運用して いるか	□入学選考基準、方法は、 規程等で明確に定めているか □入学選考等は、規程等に 基づき適切に運用しているか □入学選考の公平性を確保 するための合否判定体制を 整備しているか	5 5 5	入学者選考基準に基 づく入試試験結果を数 値化している。 入学選考は、規程に基 づき適切に運用してい る。 入学選考は、公平性を 確保し合否判定体制を 整備し、判定会議で決 定されている。	ては、規程で明確に定 め運用しているが良い 点数での入学者と、入 学後の学生の向上心と 学びに対する、前向き な姿勢が一致している 場合と、異なるケース が見られる。		募集要項
7-26-2 入学選考 に関する実績を 把握し、授業改善 等に活用してい るか	などの現況を示すデータを		入学選考データを適 切に管理保存している。 入学者の傾向に受対応 方法等にでででは、対域のででででででででででででででででででできる。 入学者といるででできる。 大学はいるではできるでは、対象等のではできる。 大学は、対域には、対域には、対域には、対域には、対域には、対域には、対域には、対域に	積は今後の高等学校の 高等学校の 高等学校の 高等学校の の様子を見る 重要ないの学者となって ないので見い。 ので見い。 ので見い。 ので見い。 ので見い。 ので対するには、 でが深まった。 でが深まった。 その意欲に でいまった。 でいまた。 でいな。 でい		募集要項

7-26 (2/2)

	: 20 (2/2)
中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入学選考基準を明確にし、選考が適切に行われている。過去の入学者の選考	
実績を入力し学生募集に生かしている。毎年中途退学者が一定数見られ、そ	
れを抑制するために募集・入学選考段階で対策の検討が今後の課題である。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太
4A44 A41 II II	14.10 1 0 /4 7 1		164 104 71777

### 7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容 に対応し、学納金 を算定している か	□学納金の算定内容、決定 の過程を明確にしているか □学納金の水準を把握して いるか □学納金等徴収する金額は すべて明示しているか	5 5 5	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている。 学納金の水準を把握している。 学納金等徴収する金額はすべて明示している。			募集要項
7-27-2 入学辞退 者に対し、授業料 等について、適正 な取扱を行って いるか	□文部科学省通知の趣旨に 基づき、入学辞退者に対す る授業料の返還の取扱いに 対して、募集要項等に明示 し、適切に取扱っているか	5	募集要項に明示して 適切に取り扱ってい る。			募集要項

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
創設者の学費は、できる限り安い額にするようにとの考えから、保護者の負担、自己の資金で入学する学生にとっても、負担金が過剰にならないように考慮して設定している。 入学辞退者に対しても取り扱いは適切に行っている。	

<b>最終更新日付</b> 令和7年3月1日 <b>記載責任者</b> 高橋 系太				
	一 最終更新日付	今和 7 任 3 日 1 日	記載責任者	高橋 系太

# 基準8 財務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学園の収入は大部分が学生の納付金である。昼間部 I 部の学生は確保できているが夜間部 II 部の学生には、年々減少傾向にある。最近の傾向としては、働きながら学ぶ苦学生の道を選択する学生が少なくなっている。新型コロナウイルス禍の学生の動行は厳しい家庭の経済状態を支えながら学ぶ方向に変わることが予測される。学園の収入を支えるには、定員の確保が課題である。広報活動を活発化し受験者の増加に努めていきたい。 授業料の値上げを行うことは収入の増加につながるが、入学希望者の減少に繋がるため容易ではない。適切な支出削減の管理を行う等、実施し、各種の問題点に適格に対策することが大切である。 私学学校法及び寄付行為に基づき、監事の監査、監査法人の公認会計士の監査を実施し、監査法人の改善意見には、適切に対応している。	学校法人の運営を中期的・長期的に眺め、今後も永続的な学校運営を続けていくために、無理のない支出の削減計画、収入増加計画、計画的な財務状況の確認・確保することが重要課題と思われる。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 邦子

### 8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び 法人運営の中長 期的な財務基と は安定している か	□応募者を でした。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	4 4 4 4 5	応募者を で実力を を表する。 一人ので を表する。 一人ので を定して を定して を定して をででででででで のが、 のが、 のが、 のが、 のでに のが、 のでに のが、 のでに のが、 のでに のが、 のでに のが、 ののでに のが、 ののでに のが、 ののでに のので ののでに ののでで ののでで のので のので	を間部Ⅱ部の応募学 を間部Ⅲの応向の応募と を数している。 を考えられる。 でである。 でである。 でである。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき		資金収支計画書 財務計画書 減価償却表
8-28-2 学校及び 法人運営に係る 主要な財務数値 に関する財務分 析を行っている か	□最近 3 年間の収支状況 (消費収支・資金収支)に よる財務分析を行っているか □最近 3 年間の財産目録・ 貸借対照表の数値による財 務分析を行っているか	5 5	資金としては過去からの 蓄積により直ちに不足にな る事態ではないが、固定資 産の更新や増加による減価 償却後の負担増が事業活動 収支に影響を与えている。 毎年財産目録・貸借対照表 による財務分析を行って いる。			

8-28 (2/2)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課	題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	□最近3年間の設置基準等による負債関係の割画を をデータによる償還計画を りまるのとでしているか。 「大きながり、一のででではある。」 「大きながり、一次でででででででででででででででででででででででででででででででででででで		定常する負債体の で償還計画ない。 教育値体の 教教人件い増理が を関する事態を を関するが、 を関するが、 を関するが、 を関するが、 を関するのののののののののののののののののののののののののののののののののののの				

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学園の基本財産は一定額が維持されている。今後は施設の老朽化に伴い	
改築が検討されるので、財務状況に注意を払いながら学園運営をして行きた	
۷٬۰	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 邦子
		N-1010-1 I	

## 8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課	題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標 との整合性を図 り、単年度予算、 中期計画を策定 しているか	□予算編成に際して、教育 目標、中期計画、事業計画 等と整合性を図っているか □予算の編成過程及び決定 過程は明確になっているか						
8-29-2 予算及び 計画に基づき、適 正に執行管理を 行っているか	□予算の執行計画を策定しているかでいるかのでででででででいます。 できない でいまれる できない できない できない できない できない できない できない できない		予算の執行計画を策定している。 当初の予算と大きく乖離することが見込まれるとは事前に修正予算でいる。 とは事前に修正予算でいる。 を理規定は整備されている。 経理規定は整備されている。 予算執行のチェック体制は常に行っている。				

特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

## 8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課	題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校 法及び寄附行為 に基づき、適切に 監査を実施して いるか	□私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか □監査報告書を作成し理事会等で報告しているか □監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか □監査時における改善意見についるか		監事による監査は年度の 終了後に施行し、結果は 監査報告書を作成し、監 事会で報告している。 事は理事会、評議員会に 出席している。外部も 査法人による監査も年間 2回実施している。 監査時の改善意見には適 切に対応している。				

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 邦子

## 8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課	題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校 法に基づく財務 情報公開体制を 整備し、適切に運 用しているか	□財務公開規程を整備し、 適切に運用しているか □公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を 作成しているか □財務公開の実績を記録しているか □公開方法についてホームページに掲載するなど積極 的な公開に取組んでいるか		財務情報の公開は行いる。 関係でいる。 財務帳票、事業会、のののでは、関係では、事業会、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので				

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 邦子
	1441 T O 71 I D		1617回 エは 1

# 基準9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
道灌山保育福祉専門学校は、関係法令の規定の内容を遵守し、認可されている、専門学校である。 幼稚園と保育士及び介護福祉、それぞれ文部科学 省、厚生労働省から管轄の中で指導に基づいて運営 している。 再課程認定等教育課程の変更について、法令に基づいて申請し実施されている。 今年度始めた学校関係者評価について、委員に対 して、時期や内容に関して検討して開催していきたい。	各機関に年度ごとの業務報告書を提出し、法令、 基準を遵守し確実に行っている。今後も毎年必要な 取り組みには法令等に合わせて行っていく。 コンプライアンス及びハラスメント防止について、 学ぶと同時に啓蒙し遵守して行くことが大切と考 える。	指導大学であるお茶の水女子大学を通じて書類を提出し、文部科学省に報告する。 東京都に、毎年学校基本調査を提出した。 東京都よりは、学園全体の会計監査が数年毎に行われる。

#### 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営でであか	□にと切□規用□下明をい□ン談□令をとに学程して等確策る教プ窓教遵にてを関連を届した。 いにはかいにがして、ではをかいとがである必し、の対対のででではないがででではでは、ではないがでででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	4 4 3 3	法令、設置基準に基づ適に基準に、適に基準に、適にを支達ををである。 がでのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	学生のしおりにわか りやすく規則・規定を	時代の変化を読みながら遅れないように推進する。	指定教員養成機関の年 次報告 指定保育士養成施設業 務報告 指定介護福祉士養成施 設業務報告 指定保育士養成施設自 己点検票 学生のしおり

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
文部科学省・厚生労働省の指定機関であり規定に基づいて運営している。法 令や専修学校の設置基準に関し担当の教職員のみが理解するにこだわらず関	
心を持ち周知するように努めたい。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太
4X1/4 X 1/1 II I I	1 19 19 1 1 10 23 1 11		1H1 IIII > 1 > 1

## 9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保 有する個人情報 保護に関するい るか	□個人情報保護に関する適 扱方針・規程をか □個人情報保護に関する適 に運用していずのをが明して大電磁とでのででででででででででででででででででででででででででででででででででで	4	入学等、学生は 学等、多人に 学等が個人の がある。 学等が個人の がのの ののの のののの ののののの ののののの のののの のののの のののの のののの のののの のののの のののの のののの ののののの ののののの ののののの ののののの ののののの のののののの	策行っとは言えない。 には言えで、から。 には言えで、から。 を立が必要のの扱いめであいるが、のであいめであいめでであいめでであいめでであいる。 では、これでであるが、っているを層理が、なての管理といるが、っているを要が、っているを要が、ないのでは、には、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	が十分とは言えないの で、今後の課題点でも ある。 定期的な見直しとルー	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
情報機器が高度化され年々新しい情報の高度な知識が求められている。新しい情報の取り扱い方を取り入れないと対応ができないことがある。それと同時に今後どのような問題が起きても対応ができることが大事と思われる。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太
	14 10 4 1 0 74 2 10		100 100 211214

#### 9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価 の実施体制を整 備し、評価を行っ ているか	□実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか □実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか □評価結果に基づき、学校改善に取組んでいるか	3 4 4	指定保育士養成施設 自己点検票は、規定等 整備し点検し改善につ なげている。	自己評価の実態体制を整備し、評価を行っているが尚一層の改善につなげていきたい。		指定保育士養成施設自 己点検票 学生アンケート調査票
9-34-2 自己評価 結果を公表して いるか		3 2	自己評価を行いまと めている。	評価結果をホームページに掲載する方向性で模索中。	実施方法等について問 題をまとめ	
9-34-3 学校関係 者評価の実施体 制を整備し評価 を行っているか	□実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか □実施のための組織体制を整備しているか □設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか □評価結果に基づく学校改善に取組んでいるか	3 3 3	学校評価の実施体制 を整備し評価を行っている。 授業についての自己 評価は、講義の最終に アンケートを実施し、 まとめている。 学生から教職員に対 しての評価は授業の 善につなげている。	第三者評価委員会を 設置するなど評価の在 り方を検討中。	学校関係者評価の重要性は、教職員が認識しているが尚一層の在り方について検討中。	
9-34-4 学校関係 者評価結果を公 表しているか	□評価結果を報告書に取りまとめているか □評価結果をホームページ に掲載するなど広く社会に 公表しているか	3 2	学生からの授業アンケートは、評価結果を 集計しまとめ関係者に 周知している。	学校関係者評価結果 を公表の方向性で検討 中。	自己評価・自己点検を 整備し公表に至るよう に努力中	

9-34 (2/2)

上在口外打	
中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
自己点検・自己評結果については、公表されているが、学生・保護者までの	
公開には至っていない。評価全体計画を整備して公表できるようにしたい。	

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太

## 9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報 に関する情報公 開を積極的に行 っているか	□学校の概要、教育内容、 教職員等教育情報を積極的 に公開しているか □学生、保護者、関連業界 等広く社会に公開している か	4	道灌山学園だよりで 定期的に学校の取り組 みを知らせ、公表して いる。 行事の際には公表し 出席を呼び掛けてい る。	いて積極的に声を掛け	相談会21回実施しているが、より積極的な情	道灌山学園だより 学校説明会資料

特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

最終更新日付	令和7年3月1日	記載責任者	高橋 系太

## 基準10 社会貢献·地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校と近隣との関係は、学校を理解していただくことから始まる。学校行事の体育祭に際しては、近隣に挨拶して回り行事の説明をしてご理解いただくようにしている。また、敬老会の方には、見学にお越しいただく招待もしている。学生が、学校の周りの掃除を行っていると「ご苦労さん。」と声を掛けてくださる、また積雪の日には近隣は高齢者が多く生活をしているので、除雪して喜ばれている。近隣の生活に密着することが大切と考える。介護福祉士専攻科は、「ふれあいカフェ」を荒川区社共と協賛して開き、近隣の高齢者の方々より喜ばれている。今年は新型コロナウイルス感染症対策のために活動を自粛している。荒川区にある「ふれあい館」に学生の作った保育技術発表会の演目を持ち公演に出掛け好評を頂く等、より一層の活動を行いたい。	社会貢献・地域貢献は、日常生活の中に根ざした形でないと定着しないと考えている。学生が通学途中の道路の歩き方から近隣の方々は見てその行いが悪いと学校に連絡がある。それは学生の社会常識を育てる上でその声に感謝しなければならない。学生のきめ細かく指導していかないとならないと考えている。	ている関係で地域の方で興味・関心がある方には参

#### 10-36 社会貢献·地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	□産・では、   □産・では、   □連携では、   ・行るかと関いているが、   ・行るがと関いているが、   ・行るがと関いているが、   ・では関いでするが、   ・では関いでするが、   ・ででするが、   ・ででするが、   ・ででするが、   ・ででするが、   ・ででするが、   ・ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	3 2 3 4 4 4 4	でなってはめ、や徒の護い将保めい地し減ッ諸で重て喚護べを会し用護れ貢共卒開護の習る来育にる球L、ト問い要学は、いる献授積のてらし。公け等しのとし、が関係がて促で、献機生で員請で、職志学化化サル対 会会のよいを対し、対策しか対る、受導、選高受防、イ等し間時のとが、のし、い受高、請判し、が、イ等しには、ないのにを、要は、大行と生人のミル利活に注集が、インのにを、要は、大行と生人のミル利活に注集が、インのにを、要は、大行と生人のミル利活に注集が、インのにを、のというに、大きして、大きして、大きして、大きしいが、大きして、大きして、大きして、大きして、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	は活性化していきたい。	絵本の、読み聞かせの活 動を行っているが、気楽 に参加できるようにい きたい。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10·36·2 国際交流 に取組んでいる か	□海外の教育機関との方の教育機関との方の教育機関との方の教育機関との方の教育機関と教育と教育機関と教育を定治の教育をで変に、一個の表別のでは、一個の表別のでは、一個のでは、一個のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	4 3 3 1	アメリカペラグ付属と持し、 で 出いたの は は は が 整って が まった は は い が を が まった が まった は は い が を が まった は は い か まった は は い まった は は い か まった は は い まった は は い まった は は は い まった は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	令和2年も計画はあった が、新型コロナウイルス		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
社会貢献・地域貢献は積極的に行わないと近隣との関係は前進が見られない。	
学校があることで、迷惑をかけている現状もあるので、これからもさらに検	
討を進めていく必要がある。	

<b>最終更新日付</b> │ 令和7年3月1日 │ <b>記載責任者</b> │ 髙橋 系治
---

### 10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボ ランティア活動 を奨励し、具体的 な活動支援を行 っているか	□ボランティア活動など社会活動について、学校とかて、学校とのに奨励して積極的に変口の設置を整備して活動の変援体制を整備しているかのがランティアの活動実績を把握しているかで出アのからでがランティアのがでいるかで共有しているかで共有しているかで共有しているかがあるがではあるがではあるがではあるがではあるがではあるが、	4 4 3 4 4	保育・介護のボランティア活動は積極的になる。 実習した後、ケリカスをでいる。 実習した後、ケリカスをでいたれる。 実体がある。 学校がている。は自身のではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは、対していないでは、対していないでは、できないでは、対していないができません。	進したいが、学生の生 活状況により、受けた いが生活のためにアル	実習園先で実習の態度に好感があなりででででででであるがある。 多くないいいではないではないではないででででででででででででででででででででででで	

特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

<b>最終更新日付</b> 令和7年3月1日 <b>記載責任者</b> 髙橋 系治
---

## 4 令和6年度重点目標達成についての自己評価

令和4年度重点目標	達成状況	今後の課題
本校に学ぶ学生は、保育者・介護者として専門的な知識と技術を身につける事は、当然と考えるが、その前に一社会人として、常識的な知識に基づいた行動ができる事を前提としている。 1、社会人として知識と行動とは・人間愛の感情を持ち正しい判断に基づく自律的な行動ができる事。・仲間との行動が、社会的なルールに従た正しい行動ができる。・他者の存在を認め、仲間と社会を通じ協力して行動し成果を成し遂げることができる。 2、指導力・実践力を備えた保育者・介護者である事・専門的知識と技術を持ち、それを現場で実践できること。・幼児の成長や発達に対する正しい知識を持ち、必要に応じて発揮できること。・高齢者の心理や行動、体の仕組みの仕組みに対して正しい、知識と技術を身につけ、必要に応じて発揮することが出来る。	<ul> <li>幼稚園教員・保育士・介護福祉士はいずれも人間性を重視した仕事領域を司る職種であり、次の点を重視して指導を行っている。</li> <li>1、社会人としての意識と行動 ・授業を蔑ろにせずに真面目な取り組みを指導する。 ・常識的な行動を可能にするための知識と技術が学べるようにハードソフト環境を備える。・相手を思い、常識な思考と行動を行うように、ホームルーム等通じて、指導する。</li> <li>2、幼児教育、介護の専門分野の知識と実践力及び連携について裁可を結び付ける喜びを味わう。・幼児の発達に関する知識が現場で生かせられる基本的な知識の習得。 ・高齢者の心理や健康に関する知識を身につける。正しい診断と支援へのチャレンジ。・同じ目標を持つ仲間と、保育研究活動や介護実習の報告を通じて、他に対する配慮と、ともに活動する喜びを味わう。・相手を思い行動する喜びと、それが国際化する世の中の必要な要件であることを学ぶ。</li> </ul>	教職課程と保育士養成課程が大きな変更のあることを踏まえ、質の高い保育者・介護者の養成に向けて一層の努力が必要なる。下記の重点目標を徹底する。 (1) 保育・介護の専門家として、その取り組みは、高い知識と技術を有し、真面目に自らを律しながら行動できる人作り。 (2) 人間尊重の精神に基づき相手を思いの行動が、できる人作り。 (3) 学業を学ぶ基本的な姿勢を身につける。・授業の態度